

I C T を効果的に活用した学習場面の 10 の分類例

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進捗で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
A1 教員による教材の提示	B1 個に応じる学習	B2 調査活動	C1 発表や話し合い	C2 協働での意見整理
				
<p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
B3 思考を深める学習	B4 表現・制作	B5 家庭学習	C3 協働制作	C4 学校の壁を越えた学習
				
<p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>